平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名　ワイエスフード株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3358　URL　http://www.ys-food.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 緒方　正憲
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 岩下　征吾　TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,123	△24.7	2	△69.1	△2	―	△28	―
24年3月期第2四半期	1,491	△7.5	7	△90.8	1	△97.4	△55	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△24百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△54百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△766.19	―
24年3月期第2四半期	△1,475.38	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	4,130	2,024	49.0	54,245.10
24年3月期	4,118	2,049	49.8	54,899.30

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　2,024百万円　24年3月期　2,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成25年3月期末につきましては、今後の経営環境が不透明であることから、現時点では未定としております。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,409	△15.2	74	170.4	64	338.6	25	―	671.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、【添付資料】P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	38,730 株	24年3月期	38,730 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,400 株	24年3月期	1,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	37,330 株	24年3月期2Q	37,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年９月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や経済政策効果により緩やかに回復の兆しが見られたものの、欧州金融問題や電力の安定供給への不安、電力料金値上げによる景気減速懸念に加え、天候不順等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食事業におきましても、消費者の生活防衛意識が払拭されず、外食市場での低価格競争、企業間における顧客獲得の激化等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底による店舗体質の改善はもちろん、社員独立支援を積極的に行い固定費の圧縮を図るとともに、海外への店舗展開を確実に進めてまいりましたが、７月の九州北部豪雨災害など天候要因の影響もあり、国内の個人消費の低下を十分に補うことが出来ない結果となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,123百万円（前年同四半期比24.7%減）の減収となり、利益面では、計画通りの固定費を圧縮できたものの、売上高の減収に伴う影響により、営業利益2百万円（同69.1%減）、経常損失2百万円（前年同四半期は経常利益1百万円）の減益となりました。

当四半期純損益は、法人税等24百万円の影響により、四半期純損失28百万円（前年同四半期は四半期純損失55百万円）となりました。

今後は、上期の対策を継続して行うと同時に、海外への出店を引き続き展開することで、更なる企業体質の強化を図ってまいります。

報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

(外食事業)

当第２四半期連結累計期間における外食事業におきましては、全国誌を媒体にしたキャンペーン及び新メニューの導入を実施することでブランディングの向上を図り、店舗モニタリングの継続と接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底に積極的に取り組み、店舗体質の改善に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の店舗状況は、新規出店が9店舗（ＦＣ店2店舗、海外7店舗）、契約満了を含む店舗の閉鎖が10店舗(直営店1店舗、ＦＣ店7店舗、海外2店舗)、直営店からＦＣ店へ変更した店舗が9店舗あったことから、当第２四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ1店舗減少して152店舗（直営店18店舗、ＦＣ店112店舗、海外22店舗）となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は1,042百万円（前年同四半期比26.1%減）、営業利益35百万円（同12.0%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第２四半期連結累計期間の売上高は27百万円（同5.4%減)、営業利益12百万円（同13.9%増）となりました。

(外販事業)

連結子会社大幸食品㈱が、お客様及び当社にすりごまの製造販売を行っております。

連結子会社ふくおか製麺㈱が、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

当第２四半期連結累計期間における外販事業の売上高は48百万円（同5.1%減）、営業損失22百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は1,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が61百万円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は3,105百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が31百万円及び繰延税金資産18百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,130百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円の増加となりました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は982百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が36百万円増加したものの、未払金が14百万円及び未払法人税等が16百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は1,123百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が47百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,105百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円の増加となりました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は2,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が28百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資産比率は49.0％（前連結会計年度末は49.8％）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加して604百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は23百万円（前年同四半期連結累計期間は30百万円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失が4百万円及び法人税等の支払額が30百万円あったものの、減価償却費が58百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は46百万円（前年同四半期連結累計期間は55百万円の使用）となりました。

これは主に、定期預金の増減額が15百万円、有形固定資産の取得による支出が30百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は84百万円（前年同四半期連結累計期間は200百万円の獲得）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入の純増額によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成24年５月15日に公表致しました連結業績予想の変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益は増加し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ減少しておりますが、金額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	616,230	692,760
売掛金	112,304	109,708
有価証券	10	10
商品及び製品	124,025	113,330
仕掛品	4,152	6,066
原材料及び貯蔵品	24,402	25,657
その他	75,250	77,765
貸倒引当金	△718	△693
流動資産合計	955,658	1,024,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,137,982	1,121,342
機械装置及び運搬具（純額）	90,017	80,121
土地	1,566,172	1,566,172
その他（純額）	34,385	29,732
有形固定資産合計	2,828,557	2,797,369
無形固定資産		
のれん	39,851	29,888
その他	12,979	11,596
無形固定資産合計	52,830	41,484
投資その他の資産		
投資有価証券	31,116	35,392
繰延税金資産	104,059	85,711
敷金及び保証金	149,804	140,368
その他	12,256	20,744
貸倒引当金	△15,821	△15,492
投資その他の資産合計	281,414	266,725
固定資産合計	3,162,802	3,105,579
資産合計	4,118,461	4,130,185

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,158	95,373
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	391,732	428,381
未払法人税等	30,696	14,310
賞与引当金	13,012	19,437
ポイント引当金	5,878	3,896
資産除去債務	1,000	950
その他	237,635	219,747
流動負債合計	985,114	982,098
固定負債		
長期借入金	807,514	855,030
退職給付引当金	77,363	72,930
役員退職慰労引当金	45,850	47,492
資産除去債務	44,308	43,351
その他	108,919	104,313
固定負債合計	1,083,956	1,123,117
負債合計	2,069,070	2,105,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	799,750	799,750
利益剰余金	266,831	238,229
自己株式	△29,400	△29,400
株主資本合計	2,039,231	2,010,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,159	14,340
その他の包括利益累計額合計	10,159	14,340
純資産合計	2,049,391	2,024,969
負債純資産合計	4,118,461	4,130,185

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	1,491,220	1,123,019
売上原価	477,758	479,491
売上総利益	1,013,461	643,528
販売費及び一般管理費	1,005,708	641,133
営業利益	7,753	2,394
営業外収益		
受取利息	447	403
受取配当金	45	44
協賛金収入	496	1,095
違約金収入	517	1,529
その他	3,051	1,947
営業外収益合計	4,558	5,019
営業外費用		
支払利息	9,546	8,817
その他	768	1,072
営業外費用合計	10,314	9,889
経常利益又は経常損失（△）	1,997	△2,475
特別利益		
固定資産売却益	－	54
特別利益合計	－	54
特別損失		
固定資産除却損	6,499	415
減損損失	62,734	1,273
敷金及び保証金解約損	2,744	－
特別損失合計	71,977	1,689
税金等調整前四半期純損失（△）	△69,980	△4,110
法人税、住民税及び事業税	17,059	11,343
法人税等調整額	△31,964	13,147
法人税等合計	△14,904	24,491
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△55,075	△28,601
四半期純損失（△）	△55,075	△28,601

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△55,075	△28,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	301	4,180
その他の包括利益合計	301	4,180
四半期包括利益	△54,774	△24,421
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,774	△24,421
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△69,980	△4,110
減価償却費	71,180	58,565
減損損失	62,734	1,273
のれん償却額	9,962	9,962
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△929	△354
賞与引当金の増減額（△は減少）	△7,736	6,425
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,501	△4,432
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△2,006	1,642
受取利息及び受取配当金	△492	△447
支払利息	9,546	8,817
有形固定資産除売却損益（△は益）	6,499	360
売上債権の増減額（△は増加）	8,845	2,595
たな卸資産の増減額（△は増加）	895	7,526
仕入債務の増減額（△は減少）	△20,813	△9,785
その他	△3,265	△14,742
小計	67,942	63,297
利息及び配当金の受取額	181	452
利息の支払額	△10,009	△8,812
法人税等の還付額	304	－
法人税等の支払額	△27,800	△30,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,619	23,972
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△18,020	△15,010
有形固定資産の取得による支出	△36,631	△30,427
有形固定資産の売却による収入	2,181	119
資産除去債務の履行による支出	－	△794
貸付けによる支出	△1,000	－
貸付金の回収による収入	96	1,026
敷金及び保証金の差入による支出	△25	△7,193
敷金及び保証金の回収による収入	3,126	4,443
その他	△4,924	1,247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,197	△46,588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	450,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△249,323	△215,835
配当金の支払額	△27	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	200,649	84,136
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	176,070	61,520
現金及び現金同等物の期首残高	454,211	542,538
現金及び現金同等物の四半期末残高	630,282	604,058

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	外食事業	不動産賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	1,410,229	29,071	51,098	1,490,399	821	1,491,220	－	1,491,220
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,669	78	1,939	7,687	－	7,687	△7,687	－
計	1,415,898	29,149	53,038	1,498,086	821	1,498,907	△7,687	1,491,220
セグメント利益又は損失（△）	40,061	10,866	△16,247	34,680	73	34,754	△27,000	7,753

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△27,000千円には、セグメント間取引消去2,946千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△29,946千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、62,734千円を減損損失として特別損失に計上しております。
（のれんの金額の重要な変動）
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	外食事業	不動産賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	1,042,455	27,503	48,503	1,118,462	4,557	1,123,019	－	1,123,019
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,971	78	1,777	7,827	－	7,827	△7,827	－
計	1,048,427	27,581	50,281	1,126,289	4,557	1,130,847	△7,827	1,123,019
セグメント利益又は損失（△）	35,250	12,377	△22,887	24,740	630	25,370	△22,976	2,394

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△22,976千円には、セグメント間取引消去614千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23,591千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、1,273千円を減損損失として特別損失に計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。